

# 下諏訪町の企業紹介 第4弾 「パン工房たるかわ」

一地域の活力がここにある



毎月発行しているクローズアップしもすわで、町内の企業を紹介します。内容は各会社から提出いただいた原稿を基に掲載しています。掲載を希望する企業は下諏訪町役場総務課 情報防災係（電話27-1111 内線262）までご連絡ください。



パン工房たるかわは平成2年5月26日に、スワプラザのビッグベンを引継ぎオープンしました。しかし、テナント料や維持費など考慮の末、平成6年11月1日に現在の御田町に移転オープンして17年目を迎えました。地元地域密着型店舗として夫婦2人で元気よく働いております。菓子パン中心にやって参りましたが、時代の流れには及ばず悪戦苦闘の日々を送っております。小売りだけでは集客が儘ならず、町内企業様のお夜食、催事などにご注文をいただきながら、働かせていただいております。元々は花巻という屋号で親が食堂を営んでおりましたが、夜より朝に働き、夜は仲間と共にじっくり飲んでいたくて転業しました。しかし“その当時作っていた餃子の味が”との要望もございまして、パン屋でありながら餃子の製造販売もしております。よろしかったらご賞味ください。少しまとまった注文でしたら配達もいたします。ご相談ください。今日も元気に頑張ります。



店主おすすめ「万治パン」



- 所在地 下諏訪町3236（八十二銀行横です） 電話26-7915
- 代表者 店主 樽川 信仁・正子 ●事業内容 パン製造販売 プラス餃子



万治さんって首ないね。

## 版画で見る下諏訪



表紙  
諏訪大社 秋宮  
八幡武義 作



1月の暦  
諏訪の初日の出  
松倉秀男 作

## 版画カレンダー製作にあたって

平成24年は会員の自由意志により製作することになりました。このところ、多くのイベントが開催されるようになり、内外問わず多くの観光客が歴史の町下諏訪を訪れるようになりました。下諏訪版画友の会も、町の文化に対する一端になればと、カレンダーをつくり続けました。これからも存続すべく会員一同頑張っています。

下諏訪版画友の会



協力：  
下諏訪版画友の会

## 下諏訪の冬、みつけ!

万治さんの見ている景色



今年もやって来ました。第1号?



冬

ポツと温まる瞬間

## ～町図書館から～

### 弱き者の生き方

大塚 初重・五木 寛之/著者  
徳間文庫



大正15年生まれの太塚初重さんは、昭和20年に輸送船が2度撃沈されて漂流した中、九死に一生を得ている。昭和7年生まれの五木寛之さんは戦後、昭和22年に父と弟妹と朝鮮半島から引揚げてきている。深い悲しみや苦しみを背負いながら生きている2人だからこそその対談集。考古学者、作家として一線で活躍している方がなぜ「弱き者」なのか?五木さん曰く「一私たちの現在と、そして明日を考える上で、ささやかな踏み台になりうるかもしれないからである。」と。（渡辺 奈美）

## 今月のおすすめ本

### うたごさん

植垣 歩子/著者  
俊成出版社



うたごさんは、一人で暮らしています。でもちっとも寂しくありません。どうしてかという、うたごさんの家はいつもとてもにぎやかだからです。フライパンおじさん・おなべおばさんからはじまり、つけものだるおじさん・米びつさんまで、台所はとてもにぎやか。ある日、もうお昼になろうとしているのに、うたごさんが起きてきません。台所のみなは心配になって、うたごさんの様子を見に行きました。すると…。（酒井 智寿子）